



骨折 ってなに?

どんな
病気?

落下や交通事故などで強い衝撃を受けたことにより、骨が折れたり、ひびが入ったりする状態。
若い小型犬に多く、原因は、抱っこからの落下、高い台の上からの飛び降りなどです。
着地の際に前足からつくため、ひじと前足首をつなぐ橈骨と尺骨という骨が折れるケースが非常に多いのも特徴です。



おもな
原因

骨折の主な原因は、落下や転倒によるものが多いです。

《 おもな症状 》

多い犬種

イタリアン・
グレーハウンドなど
俊足の犬種

トイ・プードル、ポメラニアン
ヨークシャー・テリア
チワワ など

大型犬

状況

ドッグランで全力で
走り、地面の穴など
に足を引っかけて
転倒

・抱っこから
落としてしまった
・抱っこからの飛び降り
・段差からの飛び降り など

ノーリードで散歩した
り、散歩中にリードがは
ずれて脱走したりして自
転車や自動車と接触

おもな
骨折部位

前足

前足の橈骨・尺骨

背骨や骨盤、頭蓋骨、
大腿骨、あご など

- 骨折した足を
上げたままにする
- 少し触っただけでも
ギャンギャン鳴くほど痛がる
など



◀橈尺骨を
骨折
橈尺骨を骨折し、
折れた箇所から
足先までがブラブ
ラしています

骨折の種類 折れ方によっていくつか種類があります

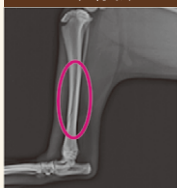
単純骨折



粉碎骨折



若木骨折



2つにパキッと折れる単純骨折、骨が粉々に折れる粉碎骨折、折れた骨が皮膚を破って外に飛び出す開放(複雑)骨折、完全に折れず一部骨がつながっている若木骨折など、折れ方により異なる呼び名があります。単純骨折はほかの折れ方に比べて治りが早い、開放骨折は感染症のリスクがある、若木骨折は若い犬に多いといった特徴もあります。

検査と
治療法

骨折が疑われる場合は、必ずエックス線検査を行い、画像で確認します。折れた部位や折れ方などによってはCT検査を追加したり、交通事故が原因なら内臓の損傷なども検査したりします。骨折が確認された場合の治療は、外科手術が一般的です。皮膚を切開し、金属のプレートとネジ、ピンなどを用いて骨を固定します。術後は、定期的に通院し、経過をチェック。完治には、2〜4カ月程度かかります。

手術後の生活 クレート内や室内を歩かせることがリハビリに

橈尺骨骨折の場合は、術後2、3日もすると、歩くようになります。歩くと骨が刺激されて骨の再生が促されるため、クレート内や滑りにくく段差のない室内で歩かせることが大切に。

※骨折した部位や状況によっては安静が必要なケースもあるため、かかりつけ医の指示に従ってください。



いぬに多い病気、そこが知りたい! は「いぬのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込むと

2号 (2ヶ月分) **無料!!**

